

うさぎとかめの通信

上越市立高田幼稚園

(園長室だより) 109周年

令和7年12月22日 第210号

HPのQRコード→

「思い→体験→表現」は、幼児、児童、生徒に一貫する遊び学びの基本！



☆自らの人生を舵取りする力☆

先日、高田幼稚園卒の子供の小学校での様子を耳にしました。私の知り合いと卒園児のお母さんのお茶飲み話の内容です。

卒園児のY子さんは、小学校の中学生です。夏休みの課題の中から読書感想文を書くことに挑戦したそうです。初めての読書感想文、学校の先生も熱心に指導してくださり、Y子さんも満足する結果になったようです。そして、次には絵本を作りたいと絵本作りにも挑戦。これも応募し、本人の自信になったようです。そして、今は、海獣の獣医になりたいという夢をもって進学先をイメージしなら頑張っているという話でした。その会話の中で、「みんながやっているからやるとか、流行っているから」という理由でやる子が多いと思うけれど、自分のやりたいことがちゃんとあるってすごいことだよ。いろいろな経験の中で夢も変わっていくかもしれないけれど、今の夢を応援してあげよう」そして「幼児教育からの育ちだよね」「幼児教育が大切だよね」という話になったようです。

この話を聞いて、「文部科学省 教育課程企画特別部会 論点整理」（令和7年9月25日）の中の「学びに向かう力、人間性等に係る現状と課題」の内容と同じことが話し合われていると思いました。

論点整理の中で、主体的に学習に取り組む態度、メタ認知について我が国の児童生徒は、次の割合が低いとされています。

- ・自律的に学ぶ自信がある子供
- ・自分で課題を立て探求に取り組む子供
- ・うまくいくか分からないことに意欲的に取り組む子供
- ・自分の考えを持つ子や夢を持つ子供

そして、「変化の激しい時代において、自身の思いや願い・意思を実現し、自身の人生を主体的に舵取りしていく力が求められている」とされています。

Y子さんは、自分で考え、課題を立て主体的に取り組む力を育んでいます。自分の人生を主体的に舵取りしながら、今を生きています。

幼児は、興味や関心を持ったものに対して、自分から関わろうとします。自分の興味や関心からの直接的で具体的な体験から、自分なりのやり方で様々なことを学び様々な力を獲得していきます。子供が遊びを通じて学ぶことの楽しさを知り、積極的に物事に関わろうとする気持ちをもつようになる過程こそが、これから自分の人生の舵取りをする力につながっていきます。高田幼稚園では、これからも自分の「好き」（興味・関心）を育み、主体的に自分から様々な人・もの・ことに関わっていこうとする過程を大切にした教育を進めています。



12月の子供たちの姿から



【発表会 12月12日(金)】

いつもの遊びから発表会の出し物につながっています。だから、楽しくてやる気満々な子供たちです。



オープニング

全園児での「はじめのあいさつ」と歌で発表会がスタートしました。



満3・3歳児 劇遊び「大きなかぶ」

入園したての満3歳児の子供も伸び伸びと好きな人物になりきっての劇遊びでした。



4歳児「きらきらにじコンサート」

いつもの遊びの中から歌ったり踊ったりの3曲を披露しました。



5歳児 劇「松版 うさぎとかめ」

子供たちがストーリを考えた劇です。絵本のお話とは全く違う楽しい劇でした。

【大根の収穫とその後 12月19日(金)】

晴天に恵まれ、みんなで大根を収穫しました。子供たちは自分で抜いた大根を1本ずつ持ち帰りました。残った大根は、松組がお家の方から買ってもらいました。売上金を使ってやりたい活動が松組さんにはあるようです。3学期のお楽しみです。



立派な大根がたくさん取れました。白菜やキャベツも収穫できました。



「いらっしゃい！いらっしゃい！」おうちの方がたくさん買ってくれました。



収穫した畑に残った野菜の葉を大手町小のポコちゃんに持っていました。